

# デリー・ムンバイ産業大動脈開発公社 CEOアミタブ・カント総裁が横浜を視察、林市長と面会！

横浜市は、今月 14 日に日揮株式会社（横浜市西区、代表取締役会長兼 CEO 竹内 敬介氏）との国際技術協力に関する『包括連携協定』を締結し、インドの国家共同地域開発プロジェクト、デリー・ムンバイ産業大動脈で公民連携による国際貢献を始めること致しました。

そのデリー・ムンバイ産業大動脈開発公社のアミタブ・カント総裁（最高責任者）のほか、インド共和国商工省産業政策推進局ラジンダー・パル・シン次官ほか 4 名が、経済産業省（アジア大洋州課）と共に 17 日横浜市内を視察し、林市長を表敬訪問して意見交換を行いました。

## ●来賓者

Shri Amitabh Kant（アミタブ・カント氏）デリー・ムンバイ産業大動脈開発公社最高経営責任者

Shri Rajinder Pal Singh（ラジンダー・パル・シン氏）インド共和国商工省産業政策推進局次官  
ほか 4 名

## ●視察の状況

①西谷浄水場（10:00～11:15）保土ヶ谷区川島町522

- ・横浜市水道事業の概要、西谷浄水場の概要



②みなとみらい21地区（13:00～15:00）

（日揮株式会社横浜本社：西区みなとみらい2-3-1）

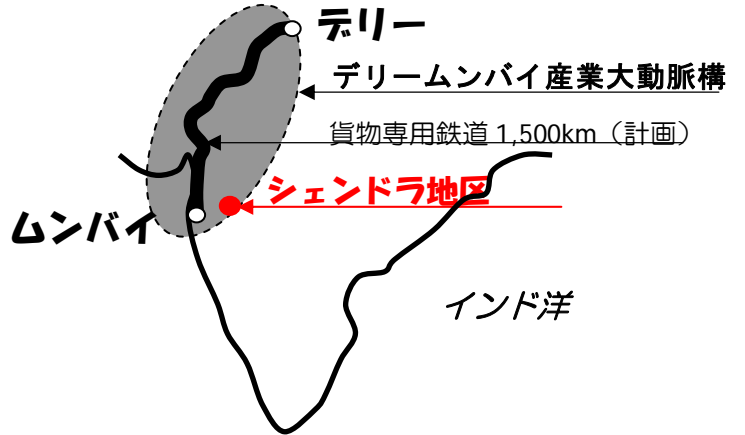
- ・横浜市の都市計画、みなとみらい21の概要と特徴
- ・スマートグリッドの将来像



●デリー・ムンバイ産業大動脈構想のFS調査では横浜市が日揮(株)に協力

○デリー・ムンバイ産業大動脈構想とは・・・

- ・ 昨年の12月に日印間で合意された日本とインドの国家共同地域開発プロジェクト。
- ・ デリーと、横浜の姉妹都市ムンバイの間約1500kmに貨物専用鉄道を整備、その周辺に工業団地等やインフラの整備を民間主体で行うもので、総事業費約900億ドルにも及ぶビッグプロジェクト。

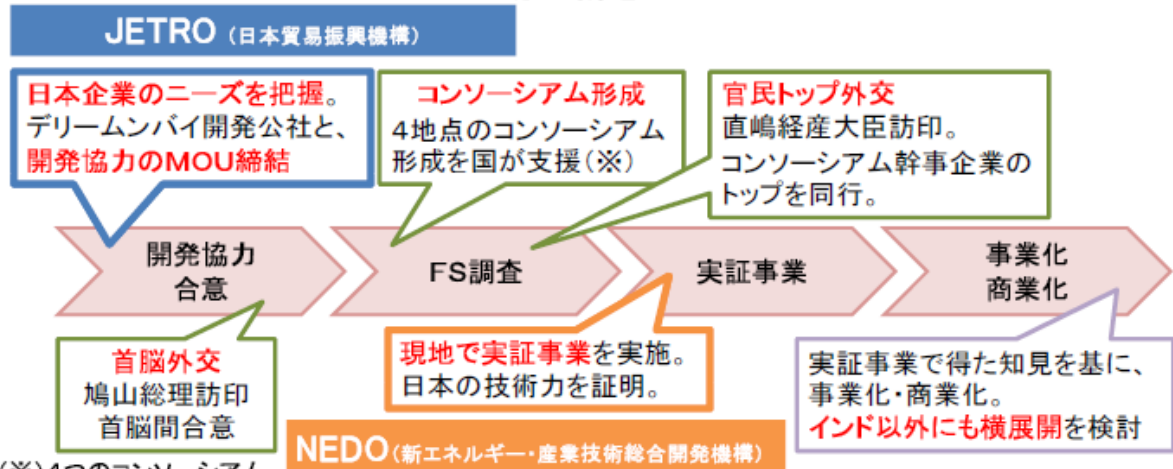


○産業構造ビジョン2010(経済産業省)の5つの戦略産業分野の1つ

「インフラ関連産業の海外展開」として期待されている。

○案件の組成段階から商業化まで、パッケージで支援。  
特に、**・計画策定段階からの協力**  
**・海外実証事業の強化** が重要。

インド:デリー・ムンバイ産業大動脈構想におけるスマートコミュニティの例



- (※)4つのコンソーシアム
- ①ハリヤナ州マネサル (東芝、NEC、東京ガス)
  - ②グジャラート州チャンゴダル (三菱重工業、三菱商事、三菱電機、Jパワー、三菱総研)
  - ③グジャラート州ダヘジ (日立製作所、伊藤忠、京セラ、東京電力、ハイラックス、北九州市、エクス都市研究所)
  - ④マハラシュトラ州シェンドラ (日揮、三菱商事、荏原エンジニアリング、日本IBM、日建設計、横浜市、富士電機)

○今後の取り組み

- ・ 構想では24地域の都市開発が予定されており、日本の環境・システム技術を活かしたスマート・コミュニティ実現に協力。
- ・ 横浜の姉妹都市ムンバイを州都にもつマハラシュトラ州シェンドラ地区で日揮(株)がFS調査を開始。
- ・ 横浜市は日揮(株)を進めるデリー・ムンバイ産業大動脈構想のFS調査に協力する。